

<SNS について>

近年、SNS をきっかけとしたトラブルが増加しています。闇バイトへの誘い、誹謗中傷、写真や動画の無断投稿など、軽い気持ちでの行動が大きな問題につながるケースも見られます。

学校でも情報モラルについて指導を行っていますが、SNS の利用は家庭での時間が中心となるため、学校だけでは見守りきれない部分があります。

ぜひご家庭でも、

「その言葉を言われたらどう感じるか」

「本当に安全な相手なのか」

「困った時に誰へ相談するか」

などを、お子様と一緒に考える機会を持っていただければと思います。

SNS は便利な一方で、使い方によっては相手や自分自身を傷つけてしまうことがあります。

子どもたちが安心・安全に利用できるよう、学校と家庭で連携しながら見守っていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<道徳参観日の様子>

道徳参観日では、「仲間からの言葉を通して自分の強みに気づくこと」をテーマに学習を行いました。

生徒たちは、友達のよいところについて真剣に考え、積極的に言葉を伝え合う姿が見られました。普段はなかなか言葉にしない相手の長所を伝えることで、温かい雰囲気の中で活動を進めることができました。

また、仲間からの言葉を受け取ることで、自分では気づかなかった自分の強みやよさを知るきっかけにもなっていました。今後も、互いを認め合い、安心して過ごせる学級づくりにつなげていきたいと思っています。



<担任からの一言>

2 | R

新学年が始まり、クラスの絆が深まる一方で、最近の教室では一部で思いやりに欠ける言葉が聞かれたり、周りがそれに同調したり、見て見ぬふりをしてしまう場面が見受けられました。そこで先日、時間を設け、クラス全体に向けて担任としての思いを伝えました。

お話ししたのは、「言葉や態度は人の心を深く傷つけることがあること」、そして「傍観者にならず、相手の痛みを想像してブレーキをかける勇気を持ってほしい」ということです。

話を聞いた後、生徒たちには「今回の話を聞いてどう思ったか」「今後、クラスのために何をするか」をシートに書いてもらいました。そこには、一人ひとりが自分自身としっかり向き合った真剣な思いが綴られていました。その一部を紹介します。

「今までは『だめだろ』と思っても傍観して見て見ぬふりをしてきました。これからは行動する前に、相手が自分ならどう思うか考えて行動します。」

「嫌な思いをしている人を見たけれど、遊びか本気が判断できず声をかけられませんでした。これからは一言でも声をかけてみようと思います。」

「他人事として見るのではなく、一人ひとりが自分事として考え、解決に向けて全員で行動するべきだと強く実感しました。」

「全員が安心・安全に過ごせる、誰も欠けることのないクラスにしたいです。」

自分の弱さや傍観してしまった事実を素直に認め、これからどう動くべきか自らの言葉で決意する姿に、生徒たちの持つ「より良くしていこうとする力」を感じました。

生徒たちのこうした決意を頼もしく思うとともに、これからの前向きな変化を大いに期待しています。お互いを思いやる温かい声かけに溢れ、一人ひとりが落ち着いて授業に集中できる、そんな素晴らしいクラスを全員で創り上げられると信じています。

私たち教職員も、生徒が安心して力を発揮できる安全な学級づくりに引き続き努めてまいります。ご家庭でも、気になることがございましたら遠慮なくご相談ください。今後とも、温かい見守りとご協力をよろしくお願いいたします。

<6月の主な行事予定>

1	月	各種委員会	17	水	第1回定期テスト
2	火		18	木	第1回定期テスト
3	水	スタディウィーク、2年内科検診	19	金	第1回定期テスト
4	木		20	土	
5	金	文化祭	21	日	
6	土	春季大会	22	月	追テスト、2年オーケストラ PM
7	日	春季総体(予備)	23	火	追テスト
8	月		24	水	
9	火		25	木	
10	水		26	金	
11	木		27	土	
12	金	I期漢検	28	日	
13	土	春季大会(水泳)	29	月	
14	日		30	火	
15	月				
16	火	一斉防災訓練(洪水)			

22R

改めまして、22R 担任の坪倉です。新年度が始まり、生徒たちもクラス替えという新しい環境に、最初は戸惑いを感じている様子も見られました。しかし、最近では少しずつ新しいクラスにも慣れ、友達と楽しそうに過ごす姿や、協力しながら学校生活を送る姿が多く見られるようになってきました。私自身も駅家中学校 1 年目ということで、日々学びながら、この学校の風土や生徒たちの良さを感じているところです。

2 年生では、文化祭、職場体験学習、体育祭、そして修学旅行など、多くの行事が予定されています。どの行事も、生徒たちが仲間と協力しながら成長できる大切な機会になると考えています。そのためには、自分のことだけでなく周囲の人のことも考えて行動することや、日頃からルールやマナーを守ること、集団の一員として責任ある行動をとることが大切です。時には厳しく指導する場面もあるかもしれませんが、生徒たちの成長を願っていることですので、ご理解いただければ幸いです。

また、学校教育活動は、学校だけで成り立つものではなく、ご家庭のご協力があってこそ充実したものになると考えております。保護者の皆様にとって、私の至らない点多々あるかと思いますが、生徒たちが安心して学校生活を送り、大きく成長できる 1 年となるよう努めてまいります。1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

23R

窓から見える若葉の緑が美しい季節になりました。四月の面談では、職場体験や進路に関する質問の他に「正直、23R の居心地どう？」とききました。今の皆さんなら、この質問にどう答えますか？

担任として思うのは、23R という場所が一人ひとりにとって『安心・安全』であってほしいということです。

目の前の相手は簡単に傷つけたり、馬鹿にしたりしていい人間ではありません。同時に、あなた自身も、誰かから傷つけられたり、馬鹿にされたりしていい人間ではありません。

傷つけあって成り立つコミュニケーションでは、『安心・安全』な人間関係は育まれません。これは誰と接する時でも意識して欲しいことだと思います。この教室が、23R 一人ひとりが大切にされる居場所であれば嬉しいです。

23R のみんなを見てみると、「ああ、安心して過ごしてるな」と感じる場面をよく見ます。23R は前向きに頑張ろうとする人が、素直に頑張れるクラスですね。文化祭のダンスも、最初は「やだ〜！」「ダンス苦手！」と騒いでいたのに、音楽が流れ始めた瞬間に一生懸命に踊り始めたのを見て、嬉しく感じました。

元気で、騒がしくて、前向きで、決める時はしっかり決めてくれる 23R。そんな 23R が、初めて全員一丸となって取り組む二年生の文化祭まで残り数日。担任として、とても楽しみにしています。

24R

1 か月が経過しました。

ここまでで、新しいクラスに慣れた人も多いと思います。慣れてきたことはとても良いことです。新しい関係を作って、新しい居場所をつくっていくことは大切なコミュニケーション能力です。24R のみなさんは大小ありますがその力をもっています。ぜひその力を伸ばしてってください。

ただ、慣れてくるということは、距離感が縮まるということです。距離感ってすごく抽象的でうまく表現でき

ないものです。でも今回はこの距離感について考えてもらいたいです。

「距離感を保つ」とよく言います。距離感を保つって言うけど難しいです。難しい理由の1つに良い距離感人は人によって全然違うからです。近くにきてくれるのがうれしい人は、どんどん近づくでしょう。一定の距離がいる人は距離を保つでしょう。それで良いと思います。ただ、中学校の学級の作り方にこの距離感の違いは反映されていません。ということは、「24Rの中には様々な距離感を好む人たちがいる」のです。だから、どうしろというわけではありません。この事実を知っておくことが大切なんです。そして、その事実を知っておいて自分はどんな距離感を好むのか、改めて考えておく。これができたら、次は・・・

まず知る。そして自分のことを考える。そのあとに仲間のことを考える。これが「思いやり」につながるのではないのでしょうか。33人が共同生活を送る場所です。距離感を少し考えてみてください。